

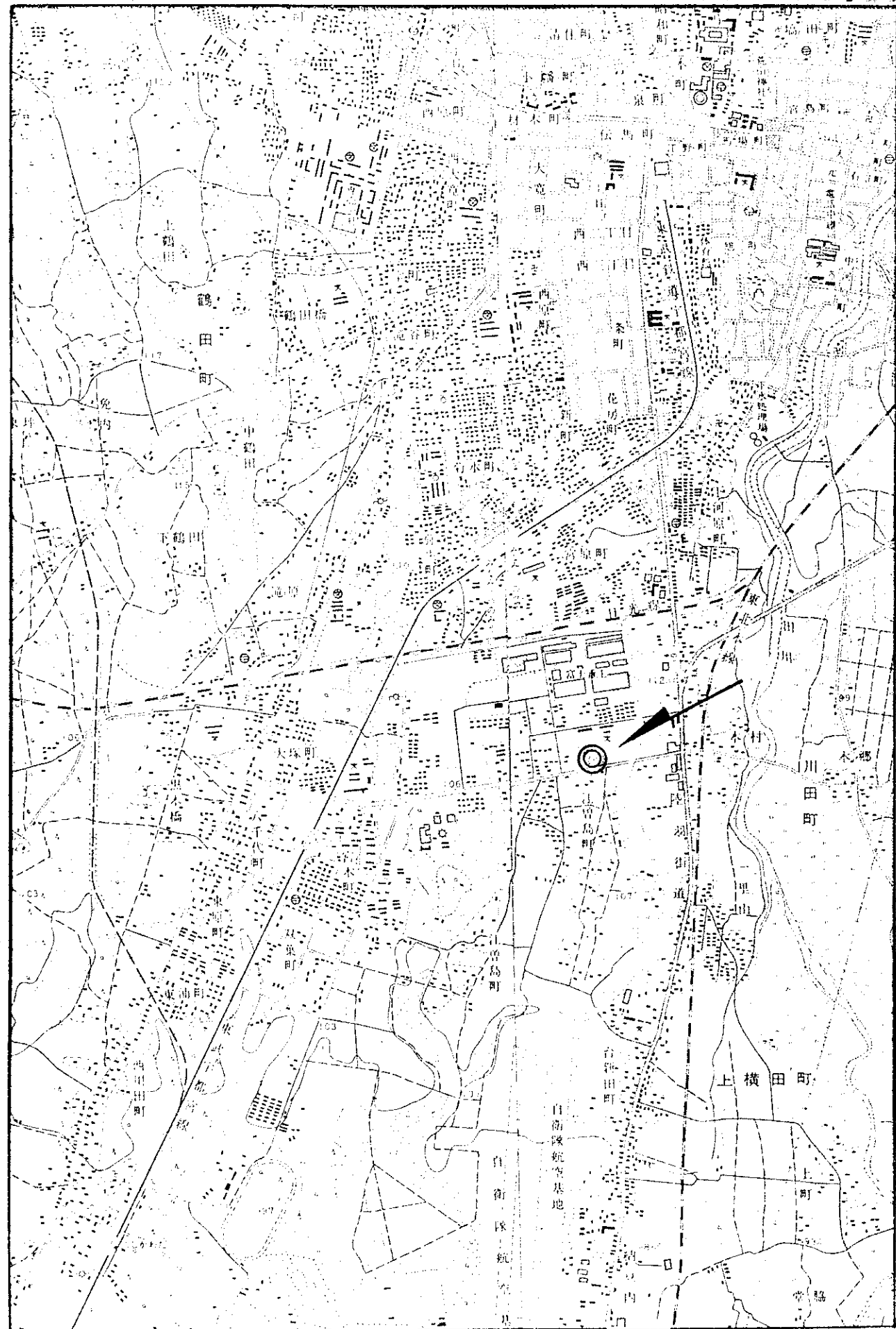
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



◎ 調査地点

調査地 栃木県宇都宮市 豊原町 2丁目

調査年月日 昭和44年5月30日~44年5月31日

標高 T.B.M. - 310. M

孔内水位 G.L. - 370 M

技術者

標高 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m	標準貫入試験							試験料		採取深度 m			
									深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					採取 方法 試料	試料	
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30				40
420	0.90	茶灰口	茶	灰口	上部10cmほどが硬い層入り 割に硬く程溶土は少量		軟	1.15	2	1	1									1	
525	2.15	橙灰	橙	灰	含水量多、ホロホロ状 粒を多量の炭化物と程		軟	2.15	1											2	
680	3.70	茶灰	茶	灰	多量の炭化物と程 下部に1mほど硬固 粘土に近くなる 砂と若干含む		軟	3.15	4	1	1	2								3	
770	4.10	暗黄灰	暗	黄	多量のシルトを含ま れる 非常に含水量あり		軟	4.15	27											4	
945	5.35	暗黄灰	暗	黄	砂		軟	5.15	50											5	
1170	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂はほとんど全角粒 φ10~50mm位		6.15	50		16									6	
1225	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	500μm以下の角粒 含水量を増す		7.15	50		19									7	
1330	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	700μm以下の角粒 が多く、硬層である		8.15	50		27									8	
1480	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	全体に粘土を混入 砂は角粒で硬層である		9.15	50		27									9	
1630	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂は角粒がほとんど φ10~50mm位 粘土が多い		10.15	50		9									10	
1830	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂は角粒がほとんど φ10~50mm位 粘土が多い		11.15	50		20									11	
2030	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂は角粒がほとんど φ10~50mm位 粘土が多い		12.15	50		10									12	
2230	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂は角粒がほとんど φ10~50mm位 粘土が多い		13.15	50		26									13	
2430	2.25	暗黄灰	暗	黄	砂	砂は角粒がほとんど φ10~50mm位 粘土が多い		15.33	50		28									15	

栃木県衛生技術専門学校 地質調査 土質柱状図 (NO. 1 )

A-25 ①

調査地 栃木県宇都宮市宮原町 2丁目

調査年月日 昭和 44年 5月 27日 ~ 44年 5月 29日

標高 TBM-2.70 M 孔内水位 G.L - 3.60 M

技術者

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	現位置試験深度 m	標準貫入試験						試 料		標尺 m				
											深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数			N 値					採 取 方 法	採 取 深 度 m	
													10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20		30			40
	-3.00	0.30	0.30	XXXX	暗 灰	埋 土	少量のセメント・ガスを混入 少量の炭化物を混入			1.15	3	1	1	1							1		
	-4.00	1.30	1.00	XXXX	茶 褐色	ローム	上部は割に硬い。下部は 1.00Mより下は硬い。			1.27	32	9	9	14								1	
	-4.40	1.70	0.40	XXXX	暗 灰	埋 土	全体に少量のセメントを混入			2.15	1											2	
				△△△			凝固した硬い泥 少量の炭化物を混入			2.65	1											2	
				△△△	茶 灰	凝灰質粘土				3.15	5	1	2	2								3	
				△△△						3.22	31	0	13	2								3	
	-6.50	3.80	2.10	△△△	茶 灰	砂質シルト	セメントを混入 少量の炭化物を混入			4.15	13											4	
	-7.00	4.30	0.50	△△△	茶 灰	砂質シルト	セメントを混入 少量の炭化物を混入			4.25	30	4	6	3								4	
				○	暗 灰	砂質中砂	砂境界付近に石灰の 50%の割合を混入			5.15	41											5	
				○						5.25	30	7	15	13								5	
	-7.70	4.50	0.30	○			セメントを混入			6.15	50											6	
				○						6.21	26	17	17	6								6	
				○	暗 黄 灰	砂 状	石灰は垂直に 比して 5~50%位			7.15	50			12								7	
				○						7.38	23	15	23	3								7	
				○	暗 黄 灰	砂 状	6.00M附近以下石灰の 量が多くなる。			8.15	50											8	
				○						8.40	25	17	27	5								8	
				○			セメント多し 石灰は硬質である。			9.15	50			19								9	
				○						9.30	15	31	5									9	
	-12.40	9.70	5.20	○			石灰は垂直に 全体に粘土を混入 1.00M附近に 180%位			10.15	50											10	
				○	暗 黄 灰	粘土質砂	1.00M附近に 180%位 硬い。石灰はセメントの 平均は 10~50%			10.25	30	15	16	14								10	
	-14.50	11.80	2.10	○	暗 黄 灰	粘土質砂	セメントと炭化物を混入 混入。上部赤褐色を呈し 粘土質である。			11.15	50											11	
				○						11.25	10											11	
				○	暗 黄 灰	砂 状	セメントと炭化物を混入 混入。上部赤褐色を呈し 粘土質である。			12.15	28											12	
				○						12.25	30	11	18	19								12	
	-15.40	12.70	0.90	○						13.15	50											13	
				○						13.20	5											13	
				○						14.15	50											14	
				○						14.25	20	25	27									14	
				○						15.15	50											15	
				○						15.29	14	26	9									15	
				○						16.15	50											16	
				○						16.21	8											16	
				○						17.15	50											17	
				○						17.25	10											17	
				○	暗 黄 灰	砂 状	石灰は非常に硬い 比して 水浸れ石灰で 10~80%位が多い。			18.15	50											18	
				○						18.21	9											18	
				○						19.15	50											19	
				○						19.18	3											19	
	-22.90	20.20	7.50	○			石灰は非常に硬い 比して 水浸れ石灰で 10~80%位が多い。			20.15	50											20	
				○						20.20	5											20	

栃木県衛生技術専門学校 地震調査 土質柱状図 (NO. 3)

A-25 (3)

調査地 栃木県宇都宮市宮原町

調査年月日 昭和44年6月1日 ~ 年 月 日

標高 T.B.M.-180 M

孔内水位 G.L. - 3.20 M

技術者

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	現 置 試 験 深 度 m	標 準 貫 入 試 験						試 料		標尺 m					
											深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					採 方 乱 試 料	取 法 乱 試 料	採 取 深 度 m	
													10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20		30				40
1	270	0.90	0.90	Y-Y	黒	腐植土	ニ次ロームと思われる 所々にロームを混ざる。				1.15	5										1		
2	375	1.95	1.05	X-X	茶	褐ローム	割に硬く粘性が強い 炭化物を多く混ざる。				1.47	32	2	2	1								2	
3	480	3.00	1.05	△△△	橙	灰鹿沼土	黒色の炭化物を混ざる ボロボロして、カサ多量		軟		2.15	3	1	1	1								3	
4	455	4.75	1.75	△△△	暗黄	凝灰質粘土	黒色の炭化物を混ざる 0.20M附近に白色の 層を混ざる 下部にしたがって砂が 多くなる		軟		2.05	30	12	9	9									4
5							全体に含水あり 非常に硬質なし は至り10%~50% 所々に80%以上の 砂を混ざるといえる		硬		3.15	1											5	
6									硬		3.65	50											6	
7									硬		4.15	3	1	1	1								7	
8									硬		4.45	30	11	11	8								8	
9									硬		5.15	43											9	
10	760	9.90	5.05						硬		5.45	30	12	12	19								10	
11									硬		6.15	50			35								11	
12	775	11.95	2.15						硬		6.34	19	17	9									12	
13	751	13.31	2.36						硬		7.15	50			24								13	
14									硬		7.29	14	24	4									14	
15									硬		8.15	50			21								15	
									硬		8.30	15	29	5										
									硬		9.15	50			31									
									硬		9.33	18	19	8										
									硬		10.15	50												
									硬		10.35	20	13	32										
									硬		11.15	50			26									
									硬		11.35	18	24	8										
									硬		12.15	50			6									
									硬		12.36	21	16	28	1									
									硬		13.16	50			26									
									硬		13.31	16	24	6										

調査地点位置図

縮尺 1:400

